



息の合った演奏で観客を魅了した大洗高マーチングバンド部  
＝宮城県気仙沼市総合体育館

## 茨城・大洗高マーチングバンド部 気仙沼などで演奏会

茨城県立大洗高（大洗町）のマーチングバンド部が7、8の両日、宮城県気仙沼市と南三陸町で演奏会を開いた。同校は東日本大震災の翌年から県内で無料のコンサートを開催してきた。その演奏に憧れて進学した県出身者2人も今回、チームの一員として迫力あるパフォーマンスを見せた。

気仙沼市総合体育館で7日あった演奏会では、ミッキーマウスマーチや時代劇「水戸黄門」のテーマ曲などを披露した。約500人の観客はリズムに合わせて体を揺らしたり、手拍子したりしながら楽しんだ。

同校は2012年から南三陸町の皆さん商店街や気仙沼市の仮設住宅などを訪問。震災では学校がある茨城県も被災したが、宮城の被災地を元気づけようと音楽を届け続けた。

震災直後、気仙沼市本吉総合体育館長としてマーチングバンド部の受け入れに携わった佐藤善則さん（72）は「初めて演

# 被災地に音楽届け12年

## 宮城出身の2人も憧れ進学 「地元の人に感動を」

奏を聴いたときは感無量で、自然と涙が出た」と振り返る。

全国コンクールで上位入賞する強豪校だけに、部員約80人のうち県外出身者が半数以上を占める。

宮城県涌谷町涌谷中出身の3年及川桐誠さん（17）はその一人。小学5年のころ、気仙沼で見たステージに感銘を受けて入部し、バスドラムを担当する。「将来は教員になってマーチングを教えたい」と言う。

気仙沼市新月中出身でトロンボーンを吹く2年吉田海采さん（16）は中学3年の秋、息の合った生の演奏を見て急ぎよう進路を変更したという。「地元の人に感動を届けたい」との思いを胸に古里の舞台に立った。

マーチングバンド部の有国浄光監督は「コンサートを聴き、一緒にやりたいと思う子どもが出てきてうれしい。また見たいという人がいる限り、今後も演奏会を続けたい」と話す。



気仙沼市新月中出身の吉田さん（中央）



宮城県涌谷町涌谷中出身の及川さん